航空実務概論　　冨吉 光則

※実務経験のある教員による授業科目：単位数２

授業概要

航空輸送業界は多くの職種、さまざまな仕事で成り立っている。航空輸送業界に興味を持っている学生に対してその魅力や将来性を詳しく講義する。講師のカンタス航空グループに在籍した豊富な実務経験を生かして展開する授業は、航空業界の主要職種や必要な資格と仕事内容について理解を深め、就活におけるさまざまな職種で働く魅力、やりがい、求められる人物像に結び付けた実践的で最新の内容となっている。観光庁が進めるこれからの観光産業を支える「観光 DX 検定」も講義に取り入れて、資格取得の一助とする。

授業計画

第 1 回	オリエンテーション　評価方法・受講ルール、航空業界の魅力とリスク
第 2 回	世界の航空産業の歴史、航空の自由化、日本の航空行政
第 3 回	航空業界の基礎知識①　航空会社のプロダクト、FSC（JAL/ANA）・MCC・LCC の違い
第 4 回	航空業界の基礎知識②　GDS・CRS の基礎、予約業務の特別講義「海外航空券予約 INFINI」
第 5 回	航空業界の基礎知識③　航空の需要予測「観光 DX」とは、「観光 DX 検定」のメリット
第 6 回	航空業界の実務①　旅客ハンドリング：グランドスタッフの業務
第 7 回	航空業界の実務②　グランドハンドリング：ランプ・貨物ハンドリング、整備士の業務
第 8 回	航空業界の実務③　運航管理：管制官、ディスパッチャー、パイロット、　理解度小テスト①
第 9 回	航空業界の実務④　機内での安全管理：CA（キャビンアテンダント）の業務
第 10 回	航空サービスに関わる業務①　ケータリング（機内食）と機内サービス
第 11 回	航空サービスに関わる業務②　貨物輸送と事務職、貿易事務
第 12 回	航空サービスに関わる業務②　SAF・環境への配慮
第 13 回	空港の役割と業務①　C.I.Q.（出入国管理・税関・検疫）、空港サービスとその進化
第 14 回	空港の役割と業務②　空港ターミナル、空港のマネジメント
第 15 回	観光業界と航空業界のつながり、履修内容の振り返り、　理解度小テスト②
第 16 回	試験もしくは最終レポート提出

到達目標

1．航空会社・空港ターミナルの幅広い知識を身に付け、それに基づき将来の発展と課題解決を立案できる。
2．航空・空港業務に必要な資格を認識し、専門職につながるキャリアデザインを実践することができる。
3．進路先としての業界の魅力を発見し、自分の希望に沿う職種を絞り込んで就活対策ができるようになる。
4．「観光ＤＸ検定初級資格」の取得を目指しデジタルトランスフォーメーションのことが理解できるようになる。

履修上の注意

・授業計画は変更になることがあります。
・講義の理解を深めるため、講義テーマと連動する動画を視聴することがあり、欠席すると視聴できない。
・「観光 DX 検定初級」（12 月予定）を受験する際の検定料（2,500～3,000 円予定）は別途個人負担。
・授業開始から 30 分までは遅刻として受講を認める。30 分以上遅れての入室は欠席扱いとする。遅刻３回で１回の欠席扱いとし、欠席の累計が５回を超えると単位付与は行わない。

予習・復習

・予習：授業の最後に、次回の授業で取り扱うメインテーマやキーワード（関連する用語）を提示するので、それを予習として行った上で次回授業に望むこと。
・復習：毎回の授業では「授業内課題シート」を記載し、それを確実に習得することとする。前半・後半に分けて「理解度小テスト」を２回実施し、復習状況のチェックとし、単位評定に反映する。

評価方法

以下の３項目を数値化し、それに受講姿勢と習得状況を精査した総合評価とする。
・平常点（毎回の授業内課題シートの提出、予習課題の取組み）　５０％
・理解度小テスト（前半・後半、２回実施）　３０％
・最終課題レポート　２０％

テキスト

・テキストの指定はしない。スライドを準備し、必要に応じてプリントを配布する。